

ブルーインパルスが飛ぶ前に
空を見ている人がいました。
なにしてるの？

松島気象隊の隊員です。

大阪・関西万博での展示飛行にあたっては、大屋根リングの上から気象状態を観測し、ブルーインパルスに気象状況を提供しました。

ブルーインパルスの飛行には、

- ★雲の高さと、
- ★視界の確保
が必要なんです

航空自衛隊では、航空機
を運用する基地を中心に、
各気象隊が配置。

パイロットにその日の天気
の推移を伝え、航空機の
安全な運航に不可欠な
重要な仕事です。

写真の機材は、
携帯型航空気象観測装置 (MWS) と
いって、例えば、災害時の派遣先にも展開
します。



夢洲の大屋根リングから、
関西国際空港周辺の
気象状態を観測する
松島気象隊員
(2025年4月)

自衛隊には幅広い職種職域があるんですよ！